

スマートフォン・タブレット向け無料アプリ
「Nebula Book (ネビュラブック)」リリース
星雲や星団、銀河などの天体の位置をナビゲート

総合光学機器メーカー、株式会社ビクセン（本社：埼玉県所沢市、代表取締役：新妻和重）は、スマートフォン・タブレット向け無料アプリ「Nebula Book (ネビュラブック)」をリリースしました。夜空にかざすだけで星雲や星団、銀河などの天体の位置を知ることができる、天体写真撮影に便利なアプリです。



<アプリ詳細>

◆天体の位置や特徴をナビゲート◆

夜空には星雲や星団、銀河などの天体が数多く存在します。ほとんどの天体は肉眼で見つけるのは困難なほど暗く、これらの天体を撮影するときは、星図を使って周囲の星から探すか、自動導入装置などの天体望遠鏡アクセサリーを使用して写野に収めることが一般的な方法でした。こうした方法は、知識と経験が必要だったりコストがかかったりと、初心者の方にとっては高いハードルとなっていました。今回のアプリを使うことで、天体の知識や撮影経験のない方でも簡単に目的の天体を探して写すことができるようになります。

この「Nebula Book」は、スマートフォン等のデバイスのセンサーにより、選択した天体が星空のどこにあるかを教えてくれます。カメラの向きとスマートフォン等の向きを合わせて固定すれば、狙った天体を簡単に写野に収めることができます。また天体の高度と方位もリアルタイムで表示されるため、水準器、コンパス、傾斜計の機能をまとめた「ポラメーター」(別売)をカメラに装着することで正確かつ素早い導入が可能となります。撮影以外にも、星空を観る際に「スマートフォン用カメラアダプター」(別売)を併用して天体望遠鏡や双眼鏡に取り付けければ、天体を探す手助けにもなります。

さらに、どの天体をどのくらいの焦点距離で撮影すればよいかわからないという声に応え、50～300mm程度の焦点距離で撮影しやすく、特徴的な天体をリストアップし、解説文を加えました。作例写真や推奨焦点距離(35mm判換算)も表示されるため、このアプリを見ながら撮影する天体を決めることもできます。

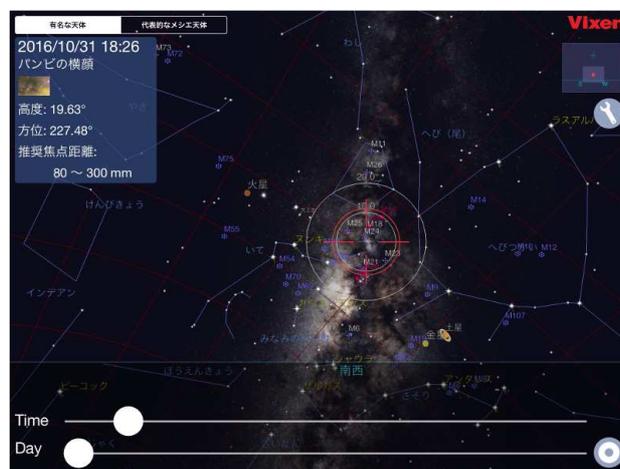
※1 天体の見え方・写り方は空の暗い場所(天の川が肉眼で見える場所)を基準にしています。街中など空の明るい場所ではこのように見えない場合があります。

※2 一部の赤色の天体は、カメラの機種によっては写りにくい場合があります。

※3 表示されている推奨焦点距離は 35 ミリ換算の場合です。APS-C の場合は $\div 1.5\sim 1.6$ 、マイクロフォーサーズの場合は $\div 2$ をしてください。



天体選択画面



選択天体画面表示

「Nebula Book (ネビュラブック)」詳細

バージョン : 1.1

サイズ : 18.4MB (iOS 版) / 16.3MB (Android 版)

推奨環境 : iOS 8.0 以上 iPhone、iPad および iPod touch 対応
Android 4.0 以上

カテゴリ : 教育



<サポートページ>

<https://www.vixen.co.jp/app/nebulabook.html>

<ダウンロードページ> (日本国内のみ)

○App Store

<https://itunes.apple.com/jp/app/nebula-book/id1167368811?l=ja&ls=1&mt=8>

○Google Play

<https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.vixen.NebulaBook&hl=ja>

<株式会社ビクセン 会社概要>

代表取締役 新妻和重

創業 1949 年 本社 埼玉県所沢市

天体望遠鏡、双眼鏡、顕微鏡、フィールドスコープ、ルーペなどの設計、製造を行う光学機器メーカー

—

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社ビクセン

企画部 都築(つづき)・藤田(ふじた)

TEL 04-2944-4000 FAX 04-2944-4045

Email tsuzuki@vixen.co.jp・fujita.a@vixen.co.jp